このまちの見る夢が、
わたしの夢です。



概要

（2026年3月31日現在）

名称	飯塚信用金庫
所在地	福岡県飯塚市本町11番42号
設立	大正11年12月22日
自己資本	338億1千9百万円
出資金	4億4千6百万円
会員数	15,657名
店舗数	20店舗
役職員数	197名
営業地区	福岡県一円
自動機器設置台数	
自動入出金機（ATM）	40台

もくじ

ごあいさつ 02
直近の事業年度における事業の業績
・おもな業績 03
・地域経済活性化への取り組み 04
・中小企業の経営支援に関する取り組み 05
・2025年度 地域とのふれあい＆トピックス 06
金庫の概要及び組織に関する事項
・組織 09
・総代会 11
・当金庫の主要な事業の内容 13
・信金中央金庫のご案内 14
金庫の事業の運営に関する事項
・統合的リスク管理について 15
・コンプライアンス（法令等遵守）について 16
・利益相反管理方針の概要 17
・金融商品に係る勧誘方針 17
・信用金庫をご利用のお客さまへのご注意とお願い 17
・マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策基本方針 18
・反社会的勢力に関する基本方針 18
・内部統制システムの運用状況 18
・当金庫における苦情処理措置・紛争解決措置等の概要 19
営業のご案内
・商品のご案内 21
・サービスのご案内 22
・手数料のご案内 23

資料編
Ⅰ. 金庫の主要な事業に関する事項
1. 最近5年間の主要な経営指標の推移 25
2. 主要な業務の状況を示す指標 25
3. 預金に関する指標 27
4. 貸出金に関する指標 27
5. 有価証券に関する指標 29
Ⅱ. 金庫の直近の2事業年度における財産の状況に関する事項 30
Ⅲ. 自己資本の充実の状況
1. 自己資本の構成に関する開示事項 39
2. 定量的な開示事項 40
3. 定性的な開示事項 47

当金庫のあゆみ 50
店舗・店舗外ATM 51



ごあいさつ



飯塚信用金庫
理事長
久保田　範昭

皆さまには、平素より飯塚信用金庫に格別のご愛顧を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本年も「いいしん」のディスクロージャー誌「iishin DISCLOSURE 2026」を発刊いたしました。

ご高覧いただき、当金庫の経営内容や事業活動等について、ご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

さて、国際政治を巡る様々なヘッドラインが市場の変動性を高める状況となり、地政学的リスクや関税政策・貿易動向の問題など、世界の政治・経済情勢は不確実性が高い状況となっています。

わが国の経済情勢は、地政学的リスク等景気を下押しする要因はありますが、雇用・所得環境が改善する中で、緩やかな回復基調が続き、日経平均株価も史上最高値を大幅に更新しました。しかし、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、人件費や原材料の上昇分を十分に販売価格に転嫁できず、利益を圧迫するリスクと同時に人手不足が事業運営に深刻な影響を与えています。こうした経営環境の悪化が続くものと思われ、変化に対応していく経営戦略が重要となります。

金融面では、日本銀行が今後も政策金利の引上げを続けていく可能性が高く、貸出金利息の増加より預金利息の増加が影響し、当面は預貸金収益は厳しい状況が続くものと考えられます。運用面では将来の安定収益確保のため、積極的な債券の入れ替えを行い、評価損の減少と利回り上昇に努めてきました。

全国的に貯蓄から投資への流れもあり、預金減少要素はありますが、今後も貸出金、運用の原資となる預金増強が重要課題と考えています。本店所在地である飯塚地区は、八木山バイパスの4車線化、JR飯塚駅の再開発等明るい材料も多く、新たに居住される方も増えています。既存のお客様は当然のこと、新たなお客様との接点を増やしていくことも大切であると考え、「価値ある接点の頻度」、「お客様を知る姿勢」、「レスポンスのスピード」、「提供する情報の質」を、改めて営業活動の基本として実践しています。接点は、単に回数を増やせばよいというものではなく、お客様への理解を深め、価値ある情報を提供することが大切です。今後も質の伴った接点の積み重ねを続け、お客様に一番近い金融機関であり続けたいと思っています。

業容面では、相続預金の流出、地公体預金の高金利での入札を戦略的に避けたことによる定期預金の流出などにより、預金残高が前期から減少となりました。貸出金については、事業性融資を中心に増加しました。

2026年度は、日々の営業活動の基本を着実に積み重ね、引き続き「いいしん」らしいリレーションシップバンキングを深化させ、地域の皆様の成長・発展に資するよう運命共同体として持続的に役割を果たしてまいります。今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。